

学会記事

(1) 各種委員会の発足

学会活動の充実をはかるため委員会制度を本年度より導入し、活動を開始しました。いずれも実務を行う委員会で、これにより事務局もそれを補佐する形となり、それに伴い事務局規定も定められました。新設の委員会は研究委員会（研究部会も含む）、総務委員会、企業における生涯教育検討特別委員会ですが、既設の年報編集委員会についても委員会構成を中心とする規定が定められました。

(2) 理事会の報告

理事会では、年報の内容、シンポジウム、課題研究などの学会の重要な問題について時間を割いて検討を加え、順次決定してきました。関東在住の理事による常任理事会を、ほぼ毎月定期的に青山学院大学で開催しています。11月12日(月)の理事会で通算38回となりました。

(3) 第5回学会大会の開催

12月8日(土)、9日(日)の2日間、国立教育会館(東京・虎ノ門)で開催。シンポジウムのテーマは「地域の中の生涯学習」。課題研究は本年度より発足した研究部会(生涯学習部会、生涯教育システム部会、学習情報・相談部会)に則した課題を2つ設けました。「生涯教育推進のシステム」と「学習情報の提供と相談」。

(4) 年報第5号の刊行

特集テーマ「地域の中の生涯学習」。学会大会時に刊行。なお、年報1～3号はすべて売切れ、4号については若干の増刷をいたしました。会員の皆様方のご協力を心から感謝申し上げます。

(5) 学会だより

学会だよりを17号までお届けできました。会員の皆様からの近況報告、地区研究会の活動報告、寄贈資料の紹介、新入会員の紹介、住所・勤務先の変更などに

ついて逐次おしらせしています。

(6) 科学研究費による研究の成果

昭和57年度から始まった生涯教育類型研究会による研究の成果は、年報や学会大会においても発表されていますが、次のような報告書としてまとめられています。「都道府県の生涯教育調査」、「企業における生涯教育及び民間学習機関の生涯教育に関する調査」、「市区町村の生涯教育調査」（いずれも昭和59年発行）。

（文責・渡辺一久）